

排水施設管理事業について

防災危機管理課

1 趣旨

角木地区及び大塚地区では、平成20年度に仮設ポンプ12本を設置し、雨量が多い時に稼働させることで雨水排水対策を行ってきましたが、平成30年7月豪雨時には、激しい降雨により地区内の複数箇所が浸水被害を受けました。関係各所と協議をした結果、現在設置しているポンプよりも排出能力の高いポンプに替えることで被害の軽減を図ることとしました。

2 事業内容

平成31年の出水期に稼働させるため、先行して現在設置している8インチ配管を新しいポンプの排水能力に対応した10インチ配管に替える工事を行います。

これにより、現在の排水能力4m³/毎分が、8m³/毎分となり、全体で、48m³/毎分から96m³/毎分にアップすることとなります。



浸水時の仮設ポンプの状況



冠水した道路

3 事業費

(単位：千円)

| 事業費 | 国・県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
|--------|--------|--------|-----|------|
| 23,819 | | 23,800 | | 19 |

【内訳】

工事請負費 23,819千円